

「加古川駅界限」



前号で西国街道を取り上げ、加古川市観光協会の「西国街道浪漫コース」を紹介しましたので、今回はその中で、加古川駅近辺のスポットを紹介します。ご用で近くを訪れた際に立ち寄ってみてください。

【西国街道標柱】 A

駅南、駅1Fまねき食堂前の植込み
「南 西国街道播磨国加古郡加古川驛…」
「西 姫路驛…」「東 明石驛…」
との標示がある道標です。



【うだつの上がる家】 B

加古川プラザホテルと県加古川総合庁舎の間の路地
「うだつ」は元来防火壁でしたが、江戸中期頃から装飾物になっていきました。

「うだつ」の設置にはそれなりの費用を要するため、これがある家は裕福な家。→「地位や生活がよくなるらない」＝「うだつが上がらない」といいます。



【胴切れの地蔵】 C

平野西交差点の北、龍泉寺の南

「昔、西国街道を通る大名行列の前を横切った（無礼な行為）男が斬られたが、気がつくとも事もなく無事だった。あたりを見回すと、普段お参りしているお地蔵さんの胴が二つに割れ、身代わりとなっていた」との言い伝えがあり、「胴切れのお地蔵さん」として祀られています。

背面の窓から見ると、実際に地蔵像が2つに切れていることが見てとれます。（46号に掲載の写真参照）

